はじめに
Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/install-vapp/qsg-vapp.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

はじめに . . . 1
- VMware vSphere の Active IQ Unified Manager を使用開始する . . . 1
  - システム要件 . . . 1
  - Active IQ Unified Managerのインストール . . . 1
- Linux で Active IQ Unified Manager を使い始める . . . 2
  - システム要件 . . . 2
  - Active IQ Unified Managerのインストール . . . 2
- Windows で Active IQ Unified Manager を使い始める . . . 3
  - システム要件 . . . 3
  - Active IQ Unified Managerのインストール . . . 4

はじめに

VMware vSphere の Active IQ Unified Manager を使用開始する

ルート証明書、 `README`ファイル、および `OVA`ファイルを含む `.tar`ファイルをダウンロードし、Unified Manager を仮想アプライアンスとしてデプロイできます。

システム要件

- オペレーティングシステム：VMware ESXi 8.0
- RAM：12 GB
- CPU：合計9572MHz
- 空きディスク容量：5 GB（シンプロビジョニング）、152 GB（シックプロビジョニング）

詳細なシステム要件については、"Unified Managerをインストールするための要件"および"Interoperability Matrix"を参照してください。

Active IQ Unified Managerのインストール

インストーラをダウンロードする

1. ルート証明書を含む `.tar`ファイル、 `README`ファイル、および `OVA`ファイルをダウンロードします。
2. vSphere Clientからアクセス可能なローカルまたはネットワークのディレクトリにファイルを保存します。
3. ダウンロードした `.tar`ファイルが格納されているディレクトリで、 `tar -xvzf ActiveIQUnifiedManager-<version>.tar.gz`コマンドを入力します。+ 必要な `OVA`ファイル、ルート証明書、および `README`ファイルがターゲットディレクトリに解凍されます。

整合性を検証する

> `OVA`ファイルの整合性を確認するには、
> `README`ファイルに記載されている手順に従ってください。

Unified Managerをインストールする

1. vSphere Client で、「ファイル」>「OVF テンプレートのデプロイ」をクリックします。
2. OVAファイルを検索し、ウィザードを使用してESXiサーバに仮想アプライアンスを導入します。
3. 「レビューの詳細」ページの「発行者」セクションに表示されるメッセージ `Entrust Code Signing - OVCS2 (Trusted certificate)`は、ダウンロードした `OVA`ファイルの整合性を確認します。メッセージ `Entrust Code Signing - OVCS2 (Invalid certificate)`が表示された場合は、VMware vCenter Server を 7.0U3E 以降のバージョンにアップグレードしてください。

4. [Customize Template]ページの[Properties]タブで、実行しているインストールのタイプに必要なフィールドを入力します。
   - 静的設定の場合は、すべてのフィールドに必要事項を入力してください。セカンダリ**DNS** フィールドへの情報の追加は必須ではありません。
   - IPv4を使用するDHCPの場合、すべてのフィールドを空にしてください。
   - IPv6を使用するDHCPの場合、[Enable Auto IPv6 addressing]ボックスをオンにします。それ以外のフィールドはすべて空にしてください。
5. VMの電源をオンにします。
6. [Console]タブをクリックして最初のブート プロセスを確認します。
7. タイムゾーンを設定します。
8. Unified Managerメンテナンス ユーザの名前とパスワードを入力します。

インストールが完了すると、Unified Manager Web UIへの接続方法が表示されます。

Linux で Active IQ Unified Manager を使い始める

Unified Managerのインストール パッケージをダウンロードして、Red Hat Enterprise Linuxの物理プラットフォームまたは仮想プラットフォームにインストールできます。

システム要件

- オペレーティングシステム：Red Hat Enterprise Linux バージョン 8.x および 9.4（x86_64 アーキテクチャベース）、OS インストーラの「ソフトウェア選択」オプションから「GUI 付きサーバー」ベース環境を使用してインストールしたもの
- RAM: 12 GB、CPU: 合計9572 MHz
- 空きディスク容量： `/opt/netapp/data`ディレクトリに100 GBのディスク容量、ルートパーティションに50 GB。 `/opt`および `/var/log`ディレクトリを個別にマウントする場合は、 `/opt`に15 GB、 `/var/log`に16 GB、 `/tmp`に10 GBの空き容量があることを確認してください。

詳細なシステム要件および製品をセキュリティで保護されたサイトにインストールする方法については、"Unified Managerをインストールするための要件"および"Interoperability Matrix"を参照してください。

Active IQ Unified Managerのインストール

インストーラをダウンロードする

1. `ActiveIQUnifiedManager-<version>.zip`インストールパッケージをコード署名証明書（.pem`）およびデジタル署名(`.sig`）とともにダウンロードします。
2. インストール ファイルをダウンロードしたフォルダで、次のコマンドを実行します。

```
# unzip ActiveIQUnifiedManager-<version>.zip
```

整合性を検証する

次のコマンドを実行して、インストーラ パッケージの整合性を検証します。

- `openssl x509 -pubkey -noout -in AIQUM-RHEL-CLIENT-INTER-ROOT.pem > <public_key_file_name>`を実行して、コード署名証明書の公開鍵を含むファイルを作成します。
- インストーラーパッケージの署名を確認するには、 `openssl dgst -sha256 -verify <public_key_file_name> -signature <signature_file_name> ActiveIQUnifiedManager-<version>.zip`を実行します。

リポジトリ設定を確認する

Red Hat Enterprise Linuxのリポジトリの設定手順はサイトによって異なります。インストールパッケージに含まれている `pre_install_check.sh`スクリプトを使用して、オペレーティングシステムの構成を確認できます。システムがインターネットに接続されている場合、Red Hat Enterprise Linuxのリポジトリのセットアップ方法が通知されます。

```
# sudo ./pre_install_check.sh
```

Unified Managerをインストールする

Unified Manager は `yum`ユーティリティを使用して、ソフトウェアおよび依存ソフトウェアをインストールします。Red Hat Enterprise Linuxには複数のイメージがあるため、どのパッケージがインストールされるかはイメージに含まれているソフトウェアによって決まります。 `yum`ユーティリティは、インストールに必要な依存ソフトウェアパッケージを特定します。依存するソフトウェアパッケージに関する詳細情報が必要な場合は、"Linuxソフトウェアとインストールの要件"を参照してください。

Unified Manager をインストールするには、インストールファイルが解凍されたディレクトリから、root ユーザーとして、または `sudo`を使用して、次のコマンドを実行します：

```
# yum install netapp-um<version>.x86_64.rpm
```

または

```
% sudo yum install netapp-um<version>.x86_64.rpm
```

インストールが完了すると、Unified Manager Web UIへの接続方法が表示されます。Web UI に接続できない場合は、ポート 443 の制限に関する詳細について、ソフトウェアに同梱されている `README`ファイルを参照してください。

Windows で Active IQ Unified Manager を使い始める

インストール パッケージをダウンロードしてUnified Managerをインストールすることで、データ ストレージの容量、可用性、パフォーマンス、保護の問題を監視してトラブルシューティングすることができます。

システム要件

- オペレーティング システム
  - Microsoft Windows Server 2019 Standard EditionおよびDatacenter Edition
  - Microsoft Windows Server 2022 Standard EditionおよびDatacenter Edition

    Unified Managerは、64ビットWindowsオペレーティング システムの次の言語版に対応しています。

- 英語
- 日本語
- 簡体字中国語

- RAM：12 GB
- CPU：合計9572MHz
- 空きディスク スペース：100GB（インストール ディレクトリ用）、50GB（MySQLデータ ディレクトリ用）

詳細なシステム要件については、"Unified Managerをインストールするための要件"および"Interoperability Matrix"を参照してください。

Active IQ Unified Managerのインストール

インストーラをダウンロードする

1. `ActiveIQUnifiedManager-<version>.exe`インストールパッケージをダウンロードします。
2. インストール ファイルをターゲット システム上のディレクトリにコピーします。

Unified Managerをインストールする

Unified Managerをインストールするには、Microsoft .NET 4.5.2以降のバージョンがインストールされていることを確認してください。Unified Managerは、インストールプロセスの一環として、必要に応じて他のサードパーティ製パッケージをインストールします。依存するソフトウェアパッケージの詳細については、"Windowsソフトウェアとインストールの要件"を参照してください。

1. デフォルトのローカル管理者アカウントでWindowsにログインします。
2. インストール ファイルをダウンロードしたディレクトリで、Unified Manager実行可能ファイル（.exe）を管理者権限で実行します。
3. 画面の指示に従ってユーザ名とパスワードを入力し、Unified Managerメンテナンス ユーザを作成します。
4. [データベース接続]ウィザードで、MySQLのrootパスワードを入力します。
5. 画面の指示に従ってインストールを完了します。
6. インストールの最後に「完了」をクリックすると、Unified Manager の Web UI が表示されます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。